神武天皇祭

京城日報

朝刊

發行所 合資會社 京城日報社 京城府太平通一丁目三十一番地

名殘の"齊唱"海行かば"
凄烈、敵陣へ死の突撃
ガダルカナル島稲垣部隊血戰記

【南太平洋前線〇〇基地にて　陸軍報道班員森川賢司發】雨雲低く垂れ四邊は眞の闇、海は黒い油を溶かしたやうにどろりと淀んでゐる、凄いほど恐ろしい暗闇と死のやうに靜寂なガダルカナル島北岸タサワロングの海岸へ突如現はれた眞黒な塊りがある、これは米英擊滅のため萬里の波濤を隔てゝ敵前强行上陸を敢行した陸の精鋭稲垣部隊である

時は昭和十七年十一月五日拂曉前のことであつた、部隊の任務は速かにルンガ河上流アウステン山北麓最前線の最右翼に陣地を布き時機來らば一擧に敵の背後を衝くといふ重大なものであつた　南海の夜が明けた、遙東方からは彼我交戰してゐるであらう銃砲聲は殷々として絶え間なく遠雷のやうに響き渡つてゐる、爆音が大空一ぱいに響き渡ると獰猛無比なる敵の飛行機は二機三機と密林上すれすれに飛び廻り怪しいと見た箇所には五、六發の爆彈を連續的に投下しその他の箇所は機關銃で盲滅法に掃射した、この猛爆下を晝夜兼行ほとんど文字通りの苦難をなめて進擊し、やうやくコカンホナの東方二キロを起點としてアウステン山の背後を通る丸山道へ辿りついた、この丸山道はわが高橋工兵部隊が十月十三日から二十一日まで約一週間不眠不休あらゆる困難と戰つて四十二キロの密林地帶を切り開いた道で、それだけに道とは名のみで獸道より最も酷い道であつた

時は丁度ガダルカナル島の雨季、毎日午後になれば底つくやうな豪雨があり丸山道は何處までも續く泥濘の道である、しかも重疊たる巖塊を一直線に切り開いた道なので時には嶮崖に縋つて斷崖を攀じ上り時には藤蔓を唯一の頼りとして千仭の谷底へ下つて行く、輜重彈藥を背負ひ銃を肩にしてこの難路を行軍する兵隊たちの苦勞は言語に絶するものであつた、アウステン山の南麓を迂廻して北麓に現れた部隊は敵の陣地や飛行場を一瞬の下に展望し得る絶好な密林地帶に陣地を布いた、隊の前方にある第一展望點から見下せばルンガ河は南から北へ帶のやうに流れ、その河を挾んで東飛行場、西飛行場があり、その周圍の小丘には堅固なる砲台を築き道路は四方八方に通じて兵員、糧食、彈藥などを滿載した自動車は水の流れるやうに走つてゐた、飛行機は毎日十機、廿機と着陸し、また味方を爆擊に行く飛行機の數さへはつきりと讀みとられた、部隊の陣地は敵の空爆もなく艦砲射擊もうけなかつたので、兵隊たちは毎日刻々と增加されて行く敵の兵器と兵員を見つめ無念の齒がみをしながら突擊命令を今か〱と待つてゐた、部隊長は全員を集め

わが部隊は最右翼に在つて敵の背後を衝く最も重要な位置にある下命次第わが部隊は敵の背後に突入すること勿論であるが、あるひは状況によつて敵の全兵力を引きつけ本隊の攻擊前進を容易ならしめなければならぬ時もあるだらう、敵の兵力を過少視することは兵家の最も愼しむべきことであるが、さりとて恐れる必要もない、見よ、敵の飛行場附近には野砲、山砲が山積し、飛行機は毎日十機、廿機と着陸してゐる米兵は弱い、だが彼らは多數の兵器をもつてわれに對抗するだらう、われ〱には大和魂があるといつても、突擊のまゝで彼らの精鋭なる兵器にぶつつかることは不可能事である、今は幸ひなことにわれ〱がこゝにゐるといふことを敵は察知してゐない、われ〱はこの機會を利用して堅固な陣地を構築しなければならぬ、……造れッ』と命令した、兵隊たちは……したのである

部隊全員斬死あるのみ

死あつて生を知れ
さらば傳令十二勇士

貝沼軍曹・勇剛

噫、部下は戰友愛の自決

カタルカナル島
ワカウ灣

なく、彼に短劍を握らせれば百發百中小銃以上の自信をもつてゐた『やッ』低いが殺氣のこもつた貝沼の氣合と共に右手の短劍が稲妻のやうにきらりと閃いた『があッ』蛙をふみ潰した時のやうな異樣な音を上げて黒い影は大きく砂上に横倒しになつた『丹羽海へ入れ』二人は海へ飛び込むと首だけ出して海岸沿ひに西へ西へと泳ぎ出した、海岸近くは珊瑚礁が多く時々足をすりむき、あるひは躓き、あるひは深みへ轉り込んだりしたので、二人は四邊の樣子を窺つて再び海岸附近の濕地へ飛び込み、ほつと一息ついてゐた、ところが其處は　からんや、その濕地は敵の高射砲陣地で歩哨はその周圍を呑氣さうに警戒してゐた、『しまつた、敵陣地だつた』見つけられたら最後だ、先手を打つて敵を倒してやれ、貝沼の右手に再び短劍が光つた、敵の歩哨が近づくや『えいッ』ぶすり、鈍い音とともに『ぐうつ』と斷末魔の悲鳴を擧げ倒れる瞬間銃の引金を引いた、彈は貝沼の肩尖をかすつて後にゐた丹羽の左大腿部へぐわつと　めりこんだ『あッ』『丹羽やられたかッ』貝沼は咄嗟に丹羽の身體を輕々しくひつ抱へ左側の密林地帶へ入つた

手練廿四人を屠る短劍

彼らの多くの亂れた足音と騒ぎ聲を背後で聴いた、眞つ暗な密林内の濕地へ丹羽を横にし、手探りで貝沼は應急手當をした、丹羽はぐつと齒をくひしばつて痛さをこらへてゐるらしく時折齒軋りをしてゐた、夜が明けると貝沼は血の氣のない顔をした丹羽をひつ擔いで密林の中を歩き廻つたが、行く先々が敵陣地で結局同じ道を堂々廻りをしてゐた、二日過ぎ三日經つても密林内を脱し得ない、夜になると貝沼は敵の陣地へもぐり込み、パンやミルク、罐詰などを奪つて來ては二人の食糧に充てゝゐた、丹羽の傷口は化膿し出し身體もめつきりと弱つて來た『分隊長殿、水が欲しい』貝沼は罐詰の空罐をもつて氣輕に立上り、小川の方へ雜草を掻き分け水汲みに出かけた、その後姿に手を合せた丹羽は『分隊長殿色々御親切有難うございました、一日も速く任務達成の日を臨みながら祈つてをります』と心で叫び、肌身離さぬ短刀を引き拔き、じつと刃尖を見つめ左手で頭の頸脈を撫で廻したのち遙かに故國の方に向つて端坐し『天皇陛下萬歳』と叫ぶと同時にぐさりと突刺した

『丹羽、水を持つて來たぞ』水を汲んで來た貝沼が丹羽の側へ近づいた『丹羽ッ、馬鹿野郎ッ』貝沼は丹羽の死體を抱へながら涙と鼻汁が一しよくたになつて貝沼の顔を皺くちやにさせた、自決して任務を果させようとする丹羽のいぢらしい戰友愛が貝沼の胸を鋭いメスで抉りとるやうな痛さと苦しさを與へた、貝沼は堪らなかつた『丹羽、貴樣の仇はおれが討つてやるぞ』丹羽の死體を埋め終つた貝沼は短劍の柄も拔けよと強く握りしめた、彼の目は恐ろしいほど殺氣に燃え全身の血は復讐のため沸々と沸りたつた

陽が暮れると彼は單身敵の中へもぐり込んだ、空には雨雲が低く垂れて星の影さへ見えない眞の闇である、貝沼の目は夜目にも怪しいほどすごく光つた、彼は黒い陰を見つけるとやもりのやうに地上へへばりついて近づき『ヤッ』と突き刺した、グーの音も出させぬ貝沼の手練の一突きである、彼は自分の行手において巡察將校を見つければ巡察將校を、歩哨を見つければ歩哨を、兵隊を見れば兵隊を、手當り次第に突き殺しその都度『丹羽、見てゐたか』と叫んだ『ヤンキーなんて弱いものさ』時には機關銃座へ飛び込んで三人五人と突き殺し彼らの食糧を奪ひ機關銃を叩き鳴して來た、彼は幾度か歩哨線を突破したかわからない、時は無言のまゝゆつくり通過すると誰何も何もしなかつた、誰何された時彼の短劍は銀蛇のやうに躍つたのである、部隊を出發してから十一日間、その間敵を刺し殺すこと十有六人

二月三日三時頃やうやくタサワロングへ到着した、そこには友軍の矢野部隊が敵と睨み合ひ猛攻の中に儼然としてゐた、しかし貝沼の本隊はエスペランスへ轉出したとのことで、さすがの豪毅の貝沼も力が拔けたやうにがつかりした、エスペランスまで十里近くある、今までの疲勞は全身の節々をうづき、腰を下せば忽ち深い眠りに落ちるほどである『よしッ最後』と友軍部隊の後援に彼は今來た道を引返し、再び敵の陣營へ入り込んだ、彼は一つの幕舍へ入つた、八人の米兵たちは呑氣さうに口を開け鼾をかきどろりと眠りこけてゐた、畜生ッ、彼は先づ端の兵隊の腹をぐさつと突き刺した、ぐーと奇妙な音を揚げて眠つたが誰一人氣がつかない『音を揚げさせずに刺し殺す方法は』……彼は咄嗟に口から突き刺して見た、これはうんとも唸らなかつたので七人とも口から突き刺して擧にし、彼らの背嚢の中味を全部奪ひ取り、それを背負うて再び友軍陣地へ悠々と引揚げて來た、二十四人叩き殺したことによつて貝沼の溜飲は幾分下つたやうな氣がした

天佑、密林中の電話線

一方高木上等兵と加藤上等兵は密林の中へもぐり込んだが、鼻をつまゝれてもわからぬやうな密林の中は、どうしても歩けなかつた、彼らは日中密林内に潜み夜になると、這ひ出し大膽にも自動車道を五メートルの間隔を置いて歩いた、その間歩哨線にさしかかること五回、幸ひにも一度の誰何もうけず悠々と通過した、敵の歩哨は背後から來るものすべてを味方と思つてゐるらしい、時折懷中電燈を明滅させて歩いて來る巡察將校を見かけた、發見されたら百年目である、彼らは用心に用心を重ね、百メートル位自動車路を歩けば次の百メートル位を椰子林や密林の中を歩いた、そしてやうやくボヘ河まで辿りついた

ボハ河附近は敵の追擊砲陣地らしくずらりと放列を布き闇をすかせば點々と人影が見える、相當嚴重な警戒網らしい、これはいけない、そこから二人は河沿ひに山へ入り、密林地帶へ飛び込んだ、幸ひにも電話線が手に觸れた、天佑だ、『この線を傳はつて行けばきつと味方の陣地へ行けるかも知れない』喜び勇んだ二人はこの線を唯一の頼りとして夜の中、密林の中を踏み轉んで一つの平坦地へ現れた、道路上に一つの黒い歩哨の影が見える『あッしまつた、敵の陣地だつた』『えいッ、まゝよ』と度胸を決めて今までの式で突破してやれ、高木は先づ悠々と歩哨の前を通過し續いてまた加藤が通過しようとした、突如誰何された、加藤ははつとし胸は早鐘のやうに高鳴つた、彼は少しも英語がわからない、それかといつて何とか返事をしなければ射たれてしまふ、彼の頭はうづまきのやうにくる〱廻つた、『オーライ』咄嗟に口から飛び出した、加藤の答へである、不審に思つた歩哨は再び誰何した『オーライ』彼は無我夢中だつた、ずどん、その瞬間加藤はぱつと横飛びに密林目がけて走り込んだ、盲射ちの銃聲は響く『加藤、道路は危險だ、苦勞してもジャングルの中を歩かう』二人は、道なき密林を切り開き切り開き西へ進み西へ進み、二月四日貝沼より一日遲れてタサワロングへ到着した『分隊長殿も無事に着いたらしい』二人は友軍から貝沼の話を聴いてほつと安堵の胸をなで下し何かしら重大任務を果したやうな氣がするのを感じた、この決死的な傳令によつて稲垣部隊の勇敢なる行動が本隊へ報告された『死あつて生あるを知れ』稲垣部隊長のこの哲學的な教訓が貝沼軍曹や高木、加藤上等兵の羅針盤となつたこと勿論である

更に十八機擊墜破
緬印國境で大空中戰

大本營發表(四月二日十七時)帝國陸軍航空部隊は三月卅一日東部印度及び緬甸領内において次の戰果を收めたり

一、コックスバザー附近飛行場群を奇襲し敵戰鬪機十六機と交戰、その八機を擊墜、他の八機に損傷を與へ全機無事歸還せり

二、緬甸アランミョウ東北方において敵機十二機と遭遇その二機を擊墜せり、わが方一機未だ歸還せず

敵搭乘員四名捕虜

【東京電話】印緬國境方面におけるわが航空擊滅戰は三月下旬以來熾烈を極めてゐるが、卅一日また敵機十八機を擊滅、または損傷の大戰果をあげた、當日の戰鬪模樣はつぎの如くである

◇

コックスバザーを强襲したわが航空部隊は折から空中集合せんとするハリケーン戰鬪機十六機を捕捉これに攻擊を加へ、壯烈な空中戰が展開されたが、たちまちそのうち八機を擊墜、殘る八機に損傷を與へ、わが方は全機無事歸還、また十六對零の大戰果をあげた、またアランミョウ(ビルマ領内ラングーン北方三百キロイラワジ河北岸)上空においてはわが荒鷲はインド東部爆擊に出動の途上、敵のコンソリデーテツトビー二四爆擊機十二機と遭遇これに攻擊を加へつゝ約一時間にわたり追擊、そのうち二機を擊墜した、敵搭乘兵四名は落下傘により降下逃走せんとしたが、そのまゝわが方の捕虜となつた、この戰鬪においてわが方未だ一機歸還しない

【南方〇〇基地二日同盟】陸軍航空部隊は前日に引續き卅一日もチツタゴン附近の敵飛行場を攻擊、邀擊し來れる敵ハリケーン十六機と壯烈なる空中戰を交へ、その八機を擊墜、殘餘の八機に悉く命中彈を與へて全機無事歸還した、他の一隊はマグウエ附近上空において侵入し來れる敵ビー二四型爆擊機十二機と交戰その一機を擊墜、他の一機は黒煙を吐きつゝ遁走、殘餘の敵機はジヤングル中に爆彈を抛棄し倉皇として遁走した、なほ擊墜した敵機の搭乘者のうち落下傘で降下した敵兵四名は直ちにわが軍により捕虜となつた

英機三機未歸還發表

【リスボン一日發同盟】ニューデリー來電=印度派遣英軍司令部は英空軍部隊は三十一日マンダレーの日本軍陣地を爆擊したが三機未歸還である旨一日發表した

神武天皇祭
けふ宮中の御儀

【東京電話】三日は神武天皇祭、宮中皇靈殿では畏くも天皇陛下御親祭あらせられて嚴かなる御祭儀を行はせられる、天皇陛下には御束帶黄櫨染御袍を召させられて午前十時皇靈殿に出御、御告文を奏せられ御拜あらせられる、ついで皇后陛下、皇太后陛下の御代拜、御參列の各皇族方の御拜禮、參列諸員の拜禮あつて御儀を終へさせられる、なほ畏き邊りでは、この日大和の畝傍山東北陵に勅使として九條掌典を參向差遣せしめられ、また午後零時半から二時半まで有資格者に皇靈殿の參拜を許される

衡陽、零陵を急襲
長沙、湘潭等にも巨彈

【廣東二日同盟】重慶來電によれば日本航空部隊の大編隊はまたも一日早朝湖南省敵前進基地衡陽および零陵を相ついで急襲巨彈の雨を降らせたが、零陵上空では敵機との間に激烈なる空中戰を演じた

【廣東二日同盟】衡陽來電によればわが荒鷲部隊は一日午前長沙、湘潭、衡陽、零陵の各地敵軍事施設を爆擊した

敵抗戰力低下
支那週間戰況

【南京二日同盟】支那派遣軍[illegible](四月二日發表)揚子江下流と武漢周邊地區における[illegible]……すでに遺棄死體二千百、捕虜……

芳澤大使五日歸任

【東京電話】過般南京、上海に赴き參戰後の中國の實情を視察、さる二十五日歸京した芳澤佛印特派大使は來る五日午後三時東京驛發佛印へ歸任する

定例休刊日變更

四月三日(神武天皇祭)は各新聞社の定例休日ですが、翌四日が日曜に當るので朝鮮新聞會の申合せにより一日繰下げて四日に變更することに決定しました、依つて四日附は三日が祭日につき夕刊は休刊して朝刊のみ發行、五日附は朝夕刊とも休刊いたします

社説　奉祝・神武天皇祭

けふ神武天皇祭の佳き日を大東亞戰爭下に再び迎へて、こゝに神須まり給ふ橿原の方を遙拜二千六百餘年を閲したる遠き後の世に於て御聖詔の『八紘ヲ以テ宇ト爲ス』大御心を奉體し、天が下四方津國に永遠の和平を樹つべく、仇なす米英を討平げむとし、戰果大いに擧りつゝあるを御奉告申上げることの出來るは、これ一に神靈の御加護によるところ、以て一億國民の甚だ光榮と拜謝し奉るところである。

畏くも、神武天皇に於かせられては、御東征によつて大和島根をひらかせ給ひ、大日本帝國の創く基礎を定めさせられた。建國の御鴻業に從ひまつりたる臣、民はひとしく今日にありても一天萬乘の大君より靑人草としての尊き大御惠みを蒙り、橿原に宮敷きまし〻往時に齊ひまつれる忠誠を今日の世に致し、更に近き日に於て米英の覇道を粉碎、全世界を皇道の光被によつて和樂せしめんとしてゐることは、つとに神明の御照覽あらせ給ふところである。一億蒼生はこの最も意義深き佳節に當つて更に大いなる必勝の決意を神武天皇の御靈に奏上し、いやちこなる加護を仰ぎ希ひ奉る次第である。

増税に堪へよ

さきに決定發表された間接税を中心とする劃期的増税が三月一日より實施を見た遊興飲食税、物品税、入場税などに次いで酒税砂糖消費税、地税、馬券税の改正並に新税たる特別行爲税、織物税その他殘餘の全種目に亘つて四月一日より愈々實施されたその大部分が今日から直接我々の生活に至大の關係をもつものばかりである。國民生活の切下とか生活設計の變更といふ決戰下の至上命令は何も今に始まつたことではないが、この増税の實施を見るに及んで、愈々その要請の切實にして、緊急なるを痛感せざるを得ない。まづ第一に租税、第二に公債消化のための貯蓄、第三に生産資金の負擔など、われ〳〵の所得から天引されるものは逆に前年より増加して、國民消費は一層から切詰められて了ふのである。勿論これは戰爭が要請する必然の國家資金動員計畫であつて、國民が彼是いふべき筋合のものではなく、戰ふ國民の光榮ある戰時負擔として又當然なる國民の責務として欣然受取らねばならぬものである。かくて國民生活の切下げといふことは各自にとつて程度の差こそあれ、もはや好むと好まざるとに拘らざる不可避のものとなつた。而もその切下率は一割なら一割だけといふのではなくて、切下げ得るものなら、いくら切下げても、それに越すことはないのである。國民はこの増税の實施を機會にもう一度自分の生活内容を再檢討してみることだ。苦熱、瘴癘の南の果てに木の實で露を凌し、蜥蜴を食つて戰を凌ぎつゝ、敢然防衞の第一線に立つ將兵の勞苦に思ひを致すなら、必ずや我々の生活を更に切下げ得る決心がつく筈である。

さて納税は國民の義務である義務である以上、國民たるものは萬難を排して納税しなければならねが、往々にして、その義務を怠るものがないではない。その怠慢のものは、勿論言語同斷である、が、手續その他の都合で善意の滯納者もこの際徹底的に處罰されねばならぬ。政府はこの納税義務を容易確實に國民に果さす爲めに納税施設法（朝鮮は納税施設令）を制定四月一日公布したが、この法令は要するに納税組合、法人納税積立金、納税準備預金を個人や法人に創設せしめ、これに特定の恩典を與へることによつて、納税を促進せしめようとするものである。これは大増税に備へる政府當然の措置であるとしても、納税者はこの際この法令の精神にひそむ政府の親心をまともに汲みとり、これら施設を活用することによつて、納税の義務を進んで果すよう心懸くべきであらう。要するにこの大増税に堪へる決心さへ出來て居れば、何ものも恐るゝに足りぬのである。

半島が内地に先鞭
"教育改正令"の内容
田中總監　記者團と會見

一日歸任したばかりの田中政務總監は二日午後二時から約一時間にわたり總監應接室にて總督府記者團と定例會見を行ひ次の如く半島はおける今次の學制改革の意義並に、今後の根本方針を初め、徴兵選擧制問題、半島人の就職、朝鮮における内鮮人の融和、議會及び内地における朝鮮に對する關心、反響などの重要問題につき、忌憚なく語つた、政務總監の談話要旨次の通り【寫眞＝記者團と語る田中總監】

半島人勞務者の内地送出問題など、は宜しくない、また職業の高さ難易を云々することは許されぬまた内地に於ける半島人學生の進學の問題についても、それ〴〵内地當局と充分話し合ひを遂げて來た

朝鮮への認識　その他今度内地へ行つて議會その他で各方面の人から朝鮮の民心の動向、治安狀況などについて色々忌憚ない質問を受けそれに對して自分も率直に話して來た積りだが、中には最近半島人が金が出來懐工合もよくなつたので愼みがなくなり内地においても出來るだけ多く採用して貰ふやう充分事情も述べ關係當局と懇談して來た、兎に角一人でも多く就職せしめたいと考へてゐるが、結局問題はそれ等の者の素質問題による、そのため半島人靑年學生の訓練を更に充分やつて行きたいと思ふ

自己反省せずだらしなくしてゐて徒らに職場のみを要求するの人の中小業者などが困つてゐるのではないか等といふ人もあつたが成程半島人に對しても色々反省を求めねばならぬ點もある、併し内地人中、小業者の保護助長なども何もコソコソ隱でやる必要はない、堂々と内鮮人間で協議してその保護策などを考慮するやう道廳などへも話してあると答へた位である

兎に角朝鮮の實情に對する認識が足りぬための誤解も多かつたが、何れも眞面目な意見や質問であるのは嬉しかつた、内鮮人の融和についても色々話があつたが、結論としては双方とも互讓の精神で行くことが最も必要である、また内地に於ける中央協和會と奬學會の關係が非常によくなつて來てをに兩者の調整について根本方針を定めて貰ふやう内地當局と充分話をして來た

學制改革　朝鮮における今度の學制改革は師範學校以外は大體内地の年限短縮に順應したわけで、たゞ學徒錬成の目的について從來の大學令においては知識技能を主とし、兼ねて國體本義の認識を透徹するといふやうになつてゐたに對し總督府も擬てそれではいかぬと言はれてゐたが、今回學科目學徒錬成の目的も國體本義の透徹を明かにするやう改められ朝鮮教育令改正の内容がすでにその通りになつてゐた點は寧ろ朝鮮が内地に對し先鞭をつけたものとして誇つていゝと思ふ、次に師範教育については内地、台灣では些か行き方を異にしてゐる、即ち内地、台灣ともに從來の師範を全部專門學校に昇格してゐるが、朝鮮では京城師範と京城女子師範のみを昇格せしめ、他の師範は暫くそのまゝ置くことゝした

これは一時に昇格せしめるよりも、先づ從來程度の教員でも充分だからその程度の教員を多數養成することが先決問題であると考へたゝめである、近き將來義務教育制を實施することゝなるが、從來の缺陷は殊に初等學校教員の素質が餘りよくないことが缺陷であつた、從つて教養の程度を高めるよりも先づ初等學校教員の素質を向上、その内容の充實を期すに止めた點が内地と異つてゐる

推薦選擧制　朝鮮における推薦選擧制採用の方針については議會開會前からすでに定めてをつたものだ、勿論内地で問題となつたやうな點は十分考へさせられる點なきにしも非ず研究の餘地なしとは考へぬが、内地ではいはれた程の弊害ありとも思はぬので、來る五月の地方議會選擧を施行する方針である

半島人の就職　半島人學校卒業者の就職問題については内地當局とも種々打合せ、將來内地

鋼材の共配制度
重點方面に優先配給

鐵鋼統制會朝鮮支部では時局の要請に卽應する鐵鋼の重點配給完遂を期し既報の如く四月一日より鋼材共配制を實施したがこれが實際運營としては

内地から移入の鋼材が現在の指定荷揚港たる仁川、釜山、鎭南浦、興南に到着するまでは鐵鋼販賣制加入の大阪鋼材、朝鮮鋼材の責任に於いて行はれるが共販ではこれら荷揚地に出張所を設置、所謂共同倉庫を設けて共同運營を行ふことゝなる、この場合仁川を除いては朝鮮鋼管もこれを利用することになる模樣であるが一方需要家側は鐵鋼販賣券の御當切符を特約店又は問屋に提示し之を受取つた特約店、問屋は共配所に持參、共配所において受付順により台帳に登錄、この順位をもつて問屋に荷渡しの指示をなすものである、勿論荷繰りについては共配所が行ひ特約店若くは需要家の庭先まで運送することになつてゐる受付順位とは共配所に於ける單なる受取日附の順位を指すものではない、例へば距離の遠近により同日に申込んでもそれが共配所に着く日時に差異を生ずる、この場合鐵鋼共販支店長が還般の事情を考慮した上、一ケ月二回乃至三回に區切つて締切り、台帳を作成するとこれが最後の受付順位となるもので而してこの單位期間内においこれに引繼ぎ行はれることとなつた

て總督府指示の小型鎔鑛爐、造船關係等の重點方面その他鐵鋼販支店長の見解による緊急方面への優先配給が行はれるものである、なほ右は十八年度よりの實施であるが十七年度第四四半期發券の分も

商組中央會總會
新年度事業を決定

朝鮮商業組合中央會では廿九日午前十時から長谷川町の京城府公會堂に第一回通常總會を開催會長挨拶（代理部筑東一理事）殖産局長告辭（代理山地商工課長）があつて議事に入り、昭和十六年度諸決算案並に事業報告…

各地商業組合より提出した物資配給、企業整備、物價および金融關係その他の提案事項について種々協議を重ね同四時散會した、なほ十八年度新規事業計畫は左の通り

悪質代用品一掃
審査委員會を設置

代用品その他新製品工業の合理的かつ健全なる育成をはかるため、殖産局においては新製品の審査機關として新製品審査委員會の設置を考慮、目下具體的研究を進めてゐる、すなはち最近代用品が續出の傾向にあるが、中にはいかゞはしい粗造品も相當あり、消費者に迷惑をかけてゐるので、これら粗惡新製品の製造に對し制限を加へるとともに優良なる代用製品の育成をはかつて稱成し、金融、化學、纖維、日用品、食料品の各分科を設けることとなつた

半島の繭價
再檢討望まる

半島小型鎔鑛爐
完成繰上げに努力

半島の債券
公正買收

鮮内銀行の決算切換へ
政府の會計年度と併行

全鮮商相協議會
提案事項決定

各道知事會議
鮮外の出席者決る

本社寄託献金
（二日扱）

國防献金

株式市況（二日後場）

随想録

文化　詩　神武天皇祭　杉本長夫

思召しの程も畏し 鍮器獻納に御垂範
李王公家から數々の御下賜品

畏くも昌徳宮、樂善齋、李鍝公家、李鍵公家各王公家におかせられては目下京城府内において實施中の眞鍮、鍮器獻納運動に深く御心を留めさせられ、二日李王職長官を通じて大日本婦人會京城支部に對して殿下日常御使用中の御器具五百卅三點御下賜の旨を仰せ出だされた、御沙汰を拜して恐懼感激した古市宣子同支部長は千田やす子、井上みな兩副支部長、大野理事、柴田主事らと共に午後一時昌徳宮に伺候、また古市府尹も小野寺主事を帶同して御禮言上のため伺候したが、各王公家よりの下賜品傳達式が執り行はれた

各殿下の厚き思召しを拜した古市支部長は宮島庶務課長はじめ李王職々員、田川昌徳宮署長以下全署員の列席する中を李恒九李王職長官より目録の傳達を受けて感謝、同二時退出した

今回、昌徳宮初め各王公家より下賜された品々は昌徳宮百卅九點、樂善齋八十七點、李鍵公家百廿八點、李鍝公家百七十九點であり、中には六妃殿下御使用の洗面器、御化粧用品ほか御愛用の水時計など御日常の御生活の中から御下渡しの品もあり、各殿下齊しく半島民衆の上に範を垂れさせ給うた御事を拜して半島二千四百萬同胞は一層眞鍮、鍮器の獻納に邁進すべく深く心に誓ふものがあつた

寫眞＝（上）各王公家よりの下賜品目録の傳達を拜受する古市日婦京城支部長（下）同下賜品を獻納する古市支部長

前線將兵へも傳達
松本武官謹んで語る

昌徳宮初め樂善齋、李鍵公家、李鍝公家各王公家から二日、日婦京城支部に下賜された眞鍮品は同日午後三時、各王公殿下の厚き思召しと共に古市日婦支部長らの手で海軍武官府へ獻納、松本大佐以下を感激させた、これら五百卅三點の目録を受けた松本武官は謹んで語る

この度、各王公家から御日常御使用品の數々を御下渡しに相成り、海軍武官府は擧げて恐懼感激してゐる次第であります、このことは早速海軍省及び第一線將兵に報告して厚き王公家の思召しを傳へます、それにつけても今回の如く日婦京城支部が擧げて海軍へ獻納のために起した運動が各王公家にまで達して、このやうな下賜品まで頂戴に及んだことは我々海軍當局者の終生忘れ得ぬ感激であります、定めしこれを第一線の將兵が聽いたなら益々奮起せねば措かぬであらう、今や全鮮は勝ち拔くために眞鍮、鍮器の獻納が日に日に熾烈となり御覽の如く武官府の庭には山と積まれてをります、各王公家の厚き思召しに感奮し半島二千四百萬民の一段の獻納供出を希望する次第であります

御恩情に報い奉る覺悟
古市日婦支部長謹話

二日、昌徳宮を初め各王公家よりの眞鍮、鍮器の下賜に接した古市府尹及び同日婦支部長は、交々次の如く謹んで語つた

本日、昌徳宮初め各王公家より多數の下賜品を賜り、しかも日夜敵と戰ふ海軍への獻納運動に御贊助の思召しを拜し恐懼感激に堪へません、數ならぬ私共の運動に厚き御心を寄せられましたことは、一層今回行ひました金屬獻納運動に大きな光を添へた次第でございます、この機會に私共も更に強く全鮮へ呼びかけて、益々獻納運動に邁進したいと存じます、第一回の運動は卅一日で終了致しましたが、各分會ではまだ出揃はぬ所もございますので一層これを督勵すると共に私共、各王公家の御恩情の萬分の一に報い奉る覺悟でございます

空襲の機を狙ふ敵
春に浮かれて不覺をとるな
二日續きの休日に 坂本防護課長談

[illegible]の日だ、しかも今年は敵米國が國土を空襲した日で[illegible]つてゐる、といふのだ、東京で[illegible]議等に出席中の總督府坂本防護課長[illegible]をなし、更に、三、四の兩日に亘る休日に際し〝と二千四百萬の民防空陣に對し

四月十八日の一周年を迎へるので內地では必ず今年も空襲があるものと想定して防空訓練を非常に熱心に行ひ眞劍そのものだ、ことに指揮者は何れもしつかりしてをりその指導振りは全く堂に入つて[illegible]なし大型爆彈に對する訓練を中心に行つてゐる、しかも隣組や町會或は夜間にも猛訓練を行ひ斷で も夜でも何時敵機が來ても完璧の防空陣を張つてゐる、訓練の單位は愛國班の如き防空群を中核とし基本訓練は町單位、綜合訓練は警察署單位で行ひ、老若男女を問はず銃後の武裝を整へてゐる、かくて內地は〝四月十八日を忘れるな〟と、いまや必勝不敗の態勢下にある

わが半島防衛も內地の眞劍なる防空に負けず何時、敵機が來襲してもびくともしないようよき態勢を完備しなければならぬ、防空訓練はやればやるほど良くなるのだから各愛國班でも自發的に機會を捉へて訓練する必要がある、このことは誰のためでもない、お互皇士に生をうけたものゝ義務であるのだ、既に傳へられてゐるやうに米國は今年こそわが本土空襲を豪語してゐるのだ、その手段は航空母艦からの空襲企圖を考へられるが支那本土の敵基地からの空襲も豫想される

わが半島の空にもいつ、何處から敵機が侵入するかも判らない、われに不敗の堅陣あらば幾百の敵機たりとも恐れることはない、だがこの鐵壁の構へがあつても寸時の油斷があれば水泡に歸する、たへず油斷をせず緊張しなければならぬ、これが防空の第一課である、三、四の兩日に亘る休日に際しても春に浮かれて家を留守にするが如きことのないやうにいざ！といふ時は防空服に身を固めるやうに注意すべきである

〝勝利の記録〟を獻納
京織高女から優勝杯を十一點

京織高女では翠川校長の音頭で『勝利の記録だからといつて死藏すべきではない』と同校生徒の手でかち得た銀盃、優勝杯をお國に役立たせることになり二日李淑子さんほか五名の生徒が山口教諭に引率されて本社を訪問、優勝杯十一點の獻納方を寄託した【寫眞＝代表と獻納品】

日滿代表者と歡談
きのふ 新京の東條さん

【新京にて宇田特派員發】東條首相兼陸相は二日午後一時四十五分滿洲國國務院を訪問、張總理、武部總務長官、三宅協和會中央本部長、臧參議府議長らの滿洲國首腦部と膝を交へて約一時間三十分に亘り重要懇談をとげ一旦宿舍に歸り、その間梅津關東軍司令官兼駐滿大使、張國務總理の答訪を受け午後八時卅分ヤマトホテルにおける張滿洲國國務總理主催の歡迎晩餐會に出席、この日從來の慣例を破つて初めて列席した梅津關東軍司令官兼駐滿大使を初め舊知の日滿各機關代表者と親しく懇談を交し極めてなごやかな雰圍氣にひたつた

梨本宮殿下台臨
四日嚴かな植樹祭

【東京電話】重要資源木材の愛護と增産目ざす大日本山林會主催の第十回愛林日は恒例により四月四日全國一齊に繰展げられるが、新潟縣田方郡中狩野村上船原地帶では午前十時から畏くも梨本山林會總裁宮殿下の台臨を仰ぎ奉り井野農相、井出山林局長、佐藤山林會會長ほか官民多數出席のもとに嚴かな植樹祭を執行する、總裁宮殿下には御親ら記念の杉苗の御植栽を行はせられ、ついで參列者一同一人當り十本宛の植樹を行ふほか全國各地でも盛大な植樹祭が行はれるがこの愛林日を前にして二日午後七時半から石黑次官はエーケーのマイクを通じて『森林を大事に育てませう』と題して放送、森林資源の重要な役割を說き森林愛護の念の強化を圖る

鐵火、鍛ふ鬪魂
全鮮銃劍道鍊成 平壤地方大會終る

【平壤にて白川特派員發】決戰下の國民的武技……大日本銃劍道振興會京城羅南兩聯合支部並に本社共催の全鮮銃劍道鍊成平壤地方大會は絕好の鍊成日和に惠まれた二日午前八時から平壤第一中學校校庭で開催、西鮮三道內各地から參集した三百五十名の精銳選士が鐵火の氣魄を示しての奮戰さながらの敢鬪に職場精神を遺憾なく發揮して多大なる成果を收め午後四時過ぎ修了、續いて岩部大佐から晴れの入賞者にそれぞれ賞狀並に賞品を授與、萬歲を奉唱、敵米英何するものぞの必勝の信念を昂揚した、成績左の如し

▲突入試合[illegible]

終始熱心に參觀
小磯總督『馬事展』へ

愛馬意識を昂揚し馬事思想の普及徹底を圖る朝鮮馬事會主催、總督府朝鮮軍後援の朝鮮馬籍令施行記念『馬事展覽會』は一日から八日まで丁子屋百貨店で開催、馬の軍隊教育篇をはじめ競馬、農耕馬などの馬の重要性を判り易く圖解で展示、一般の馬に對する關心を昂めてゐるが二日午後四時半小磯總督が小林祕書官を伴つて同展覽會場にひよつこり來場、朝鮮馬事會矢野副會長の案內で各種ヂオラマを丹念に見て廻り馬が二歲から五歲に生長するまでの逞しい馬の寫眞に微笑を湛へてぢつと見入る本邦馬の改良品種の圖解には〝これは良く判らないね〟と熱心に聽き質し、さらに最近世界大戰役における出征人馬數の統計表にしばし眼をそゝぎ馬に對する深い關心を示した

かくて限なく會場を一巡して同五時四十五分退場、直ちに總督府商工獎勵館で開催中の殖産局主催『生產力增强大東亞經濟建設展覽會』會場に足を運んだ【寫眞＝馬事展參觀の小磯總督】

一葉賞創設

【東京電話】大日本文學報國會ではわが女流文學に偉大なる功績を殘した樋口一葉女史を顯彰するため一葉賞を設定し每年女流小說家の新進（なるべく無名のもの）に賞金五百圓を贈り淸新な小說發展に貢獻することになつた、第一回發表は來年四月とし今年中に發表執筆された作品から銓衡される

ちと痛い上戶黨
增稅で、跳ね上つた酒類

增稅により酒やビールの値段が一日から上つた、愈々引きしめて節酒し決戰の年を乘り切らう——まづ淸酒は今月中旬酒類審査委員會を開き三級種の銘柄を決定することになつてゐるが、差當り現在の上等種を二級とし並等を三級としてをり、一級は定められてゐない、また鮮內主要地を甲地とし、その他を乙地としてゐるが家庭用小賣をみると、朝鮮產淸酒は京城等の重要地である甲地は一升壜詰二圓四十四錢から三圓四十五錢に上り家庭に配達するときは十錢の配達料を取ることになつた、內地產も二級一升壜詰三圓一錢のものが四圓六錢にはね上り十錢の配達料がつく、ビールは一本五十七錢から九十錢となり二級（上等）が二圓四十四錢から三錢の配達料つきである、酒場、料理店、旅館等では內地產一本（一合）四十錢が六十錢に上り朝鮮產も一本（一合）五十五錢（從來四十錢）五十錢（同卅五錢）となり、合成酒も五十錢（同卅五錢）ビール大壜一圓廿錢（同七十五錢）黑ビール大壜一圓廿錢（同八十錢）生ビール一立、一圓七十錢（同一圓十五錢）黑ビール同上一圓七十錢（同一圓廿錢）サイダー、シトロン、クリスタル一本四十五錢（同三十四錢）炭酸水（サイダー型）一本四十錢（同三十一錢）となつた、この外家庭用の合成酒は京城は（これのみ乙地）從來一升二圓廿六錢が三圓卅一錢に上り十錢の配達料つき、酒場等では從來一本廿五錢が五十錢となつた、燒酎は甲地容器一升廿五度一圓八十錢（從來一圓四十錢）卅度二圓五錢（同一圓六十錢）廿五度二圓卅五錢（同一圓八十錢）四十五度三圓（同二圓卅錢）となつた、砂糖は一斤三錢の値上りで三十七錢とな[illegible]

なかく有益だ
波田總長 經濟展を見學

波田總聯總長は『ガソリンの一滴は血の一滴』だと一日午前十一時商工獎勵館に開催中の『大東亞經濟建設大展覽會』に徒步で姿を現した、同館中立主任の案內で、朝鮮地下資源や電力の重要性を强調してゐる第一會場からゆつたりと步を進め『うむ、あゝ』と、うなづき『よくまとめましたね』とまづ係員の勞苦を犒ひ、農產、木材、工藝品或は鐵道の第二會場へ進み稻扱機の圖解の前で『この機械は朝鮮でも使ふんだね、朝鮮では麥おとしを田のすぐ側でやらないで遠くの家まで持ち運んでやるのかね？途中で麥が落ちてしまふのに』の心遣ひを示し、林木の場面では〝植ゑる苗木は幾十年後に我々の子孫が使用するのだ〟といふ標語に讀み入りじつと默想する、第三會場ではここは南方向の輸出及び輸入品の展示を一々具さに見入り、マニラ、サイゴン、バンコク、昭南島市場から出品したものの前にしばらく立ち止まる、正午のサイレンで默禱、更に第五の室に廻り、東亞共榮圈の現狀展示に大きい希望を感じながら同一時半〝大變有益だ〟を述べて辭去した

鮮產馬增產に蹶起せよ
第一線に 乘馬こそ武道【下】
今後益々必要な軍馬
朝鮮軍 宮脇中佐談

（四）役馬鍛錬

滿洲事變から支那事變にかけて多數の軍馬が徵發された、このうちには馴致が不良で取扱ひに困難を感じ手入は行屆かず故障馬が續發した、また鍛錬不足のため持久力なく徒らに多數軍馬を損耗せしめたのである、この苦い經驗から內地では軍用保護馬制度が設けられ法令をもつて特別の鍛錬を施すこととなつた、その結果戰地での馬の取扱は容易となり馬の損耗は減少し非常な成果を收めた、朝鮮では未だ軍事保護馬の制度はないが移植馬や內地系土着馬はこれに相當するものと見てよい、在來馬たる內付馬は勿論のことこれらの馬も

軍用適格馬は何時でも徵發に應ずる準備をなし、馴致の向上、體力持久力の增强を圖つて置かねばならぬ、挽馬は過勞に陷るほど勞働してゐるから鍛錬の必要がないとか、農馬は馬耕をしたり馱載してゐるから既に鍛錬も出來てゐると考へるのは一應は尤もであるが、荷馬車の挽馬の如く一定の作業に服するものにおいては局部的に特定の筋肉は强力となるが、馬體全體は强固となり彈力性を失ひ勝ちである、これは勞働不足に陷り

筋肉の凝縮を解き彈力性を附與し持久力を向上するものである、農馬についても同樣である、農馬は農閑期に勞働不足に陷り、合理的な鍛錬は過勞を癒し、地形の特質を考へるとき平坦なる道路上の緩慢なる步度のみにおける挽曳をもつて滿足すべきではない、戰地における作業や

如何なる地形に遭遇するも旺盛なる挽曳意志をもつて强力なる力を發揮しこれを持續せしめねばならぬ、馬耕の能率を昂め生產をよくする馬には特に鍛錬を忘れず農閑期には遊ばせず軍馬を挽馬として使役し最高度に利用することこれが愛馬心である、こゝにおいて特殊な鍛錬を課する必要があるのであ

る、易いから乘馬、挽馬としてこれを利用し適當なる作業を課するとともに鍛錬を怠らぬ必要がある、挽馬共に馴致調教は大切である、特に軍馬は集團監理であるから集團馴致に重點を置くのが肝要だ、馴致や調教はもとより馬の用役に應じ挽馬として乘馬として行ふべきであつて用役の如何にかゝはらず千篇一律に行ふべきではない、鍛錬といへば乘馬鍛錬と考へるのは誤りである、しかし各種用役の馬を混じ鍛錬を行ふ機會も多いと思ふ、鍛錬指導に任ずる人は鍛錬法を一通り心得て置かねばならぬ、全南北道及び黃海道の一部においては役馬鍛錬（主として乘馬鍛錬）が開始されてゐるが一般に普及してゐない、戰時下何時徵發されるやも測られずの馴致、鍛錬は全鮮で行はなければならぬ重要事項である

（五）學生靑少年に對する馬事敎育

前歐洲大戰の軍馬の數は兵三人に對し馬一頭であつたといふ、軍馬の所用數は益々增大する傾向にあるのであるから今次大東亞戰における我國の軍馬數が莫大な數にのぼることは想像がつくことと思ふ、これら多數の軍馬のうち取扱不良のため斃れたり廢役になつたりするもの尠くないとすれば由々しき問題である、戰線では兵士が自分の勞苦を忘れて急峻なる山を幾度となく登り降りして愛馬のために水を運び傷ついた馬の馬糧の一部を自ら背負ひ重い足を引きずりながら數里の行軍を續けた愛馬美談も少くない

然し 一方馬に對する取扱不馴れのため馬の世話が行屆かなかつたため馬を斃したり、自分も思はぬ怪我をすることもあるのである、兵員の數が增すに從ひ馬を知らぬ兵も多數加はり戰地では馬に接する機會が多くなる〝馬には乘つて見よ〟といふ馬は乘つて見て初めて馬の心も判り可愛さも判る

つたことを考へるとき將來戰線に立つ若い人たちには是非とも馬に對する一通りの知識と取扱方法を心得させて置きたいものである、四五回の敎育で足る、馬のあるところでは簡單に實施される、更に乘馬訓練により乘御使役の術を體得させればこれに越したことはない、しかし乘馬訓練は設備資材の關係で全部に及ぼすことは困難であらう、乘馬團體のあるところでは力めて學生や靑少年のために便宜をはかり乘馬訓練を施して貰ひたい、乘馬は娛樂や遊戲ではなく武道である、靑少年の心身の鍛錬のため大いに獎勵しなければなら

（六）馬事關係者の覺悟

馬事は地味で人目立たぬ、飛行機戰車の如く急速な發展は望めぬ、馬事關係者も初めの氣合が何時の間にか拔けてしまふといふことがないでもない、四月七日は明治天皇が我國の馬事につきいたく御軫念あらせられ馬の改良增產をはかれと仰出された感激の日である、馬事關係者一同はこの有難き大御心を體し大東亞戰に勝ちぬく爲私心を捨て打つて一丸となり旺盛なる企圖心と堅忍不拔の意志をもつて馬事振興に專念せねばならぬ

夕刊　京城日報

皇帝陛下親しく再度、御握手を賜ふ
東條首相、宮廷に參進

【新京二日同盟】滿洲國皇帝陛下には一日新京に到着した東條首相に對し、二日は更に接見と賜宴の御沙汰があり、日滿兩國の御交驩を彌が上にも深めさせられた、この日東條首相は午前九時三十分關東軍司令部差廻しの自動車で宮内府南門から建國神廟に參拜、續いて本祭祀府總裁、小泉、沈兩奉祀官奉仕のもとに拜殿に於いて恭しく拜禮、大東亞戰爭完遂と滿洲國の隆昌を祈願したうへ、皇帝陛下の御機嫌奉伺のため帝宮に參進、西便殿にて少憩のうへ皇帝陛下に拜謁仰付けられた、畏くも皇帝陛下には親しく御握手を賜り、また佐藤軍務局長以下隨行者に對してもそれぞれ接見あらせられ、更に西便殿に歩を運ばせられ、しばし御歡談遊ばされたと承るが、十時三十分首相は一旦帝宮を退出して宿舍に歸還、大村滿鐵、國瀨滿々二宮滿拓の各總裁からそれぞれ現地事情の報告を聽取したが、首相は正午再度帝宮に參進、先着の梅津關東軍司令官兼特命全權大使とともに嘉樂殿に入れば、皇帝陛下御臨、開宴あらせられた、皇帝陛下には御機嫌御麗しく御杯を高く上げさせられ、聖壽萬歲を壽がせられて、御乾杯御挨拶の裡に御會食遊ばされた、宴終るや陛下には東條首相御同伴にて東便殿に御臨、再び首相に御名殘りの御握手を賜つた、かくて今次來滿の最高目的を滯りなく終へた首相は御殊遇の數々に感激しつつ帝宮を退下した、なほ東條首相はこの日午前十一時新京忠靈塔に佐藤軍務局長を、更に十一時五分建國忠靈廟に小嶋中佐をそれぞれ代拜せしめ滿洲建國の靈を慰めた

帝宮を退出する東條首相（二日）＝新京電送＝

日華關係、更に促進
入京の重光大使語る

【東京電話】中央政府と打合せのため一日午後四時空路入京した中華大使重光葵氏は中國の現狀につき左の如く語つた

昨年末の汪主席の訪日により日華兩國が共同戰線に起つて新秩序建設に協力邁進する基礎が出來上つたわけであるが、これが中國の參戰となり、我が方の新事態に對應する新政策の展開となつた、しかしてその後の日華關係は中國の強化を目途とする我が積極的、友好的諸措置となつて具現し、すでに政治部面に於いては八專管租界の返還、北京公使館區域、廈門、鼓浪嶼共同租界行政權還附などの實施があり、經濟部面では在華敵產一千件の國府移讓、物資移動制限の緩和、軍票新規發行による儲備券統一工作の進捗などが次々と具現せられ、新段階に即する日華關係の緊密化は滿足すべき狀態で推移してゐる、我が方の

自主獨立　國府政治力の強

協力支援に　對し國府側

清新の氣注入
師範學校長及び中學校長級　廣汎な異動發令

今次の學校改革に伴ふ京城師範學校の專門學校程度昇格並に淸津、大田、海州各師範學校の新設に伴ふ師範學校長及び中等學校長級の人事異動は、京城師範前校長岩下雄三氏の勇退と睨み合せ本府學務局の手許で銓衡中のところ、一日附次の如く廣汎な異動を發令した卽ち本府視學官高橋濱吉氏の、かねて半島人教育に於ける國體本義透徹のため率先しつゝあつた功績と手腕が買はれ、專門學校程度昇格後初代の京城師範學校長として榮轉したのをはじめ、その後任には本府東京出張所在勤の視學官中島信一氏が拔擢され、新設師範校長には咸北中學校長が淸津へ、鐵谷大田中學校長が海州へ、藥師寺京畿道視學官が大田へそれぞれ榮轉すると同時に、その後任の補充に伴ひ新義州、咸興、大田、順天各中學校長及び金堤高等女學校長なども異動し、師範、中等教育界に一脈淸新の氣を注入した

教學官　高橋濱吉

總督府辭令（一日）

任師範學校長（二）補京城師範學校長　本府視學官　中島信一

任教學官（三）學務局勤務を命ず　（馬山）中學校長兼教諭　重松正晃

任師範學校長（三）補淸津師範學校長　（大田）同　鐵谷敬三

任師範學校長（三）補海州師範學校長　（京畿）道視學官　藥師寺涓彥

任師範學校長（三）補大田師範學校長　（忠北）同　犬丸勝良

任師範學校教授（五）補京城師範教授　（忠南）道視學官　兒玉東一

任師範學校教授兼教學官補京城師範教授（六）學務局勤務を命す　（順天）中學校長兼教諭　廣兼弘毅

任道視學官（四）京畿道在勤を命す　（金堤）高女校長兼教諭　岸米作

任道視學官（六）忠南在勤を命す　（仁川）中學教諭　吉崎文三郎

任中學校長兼教諭（五）補馬山中學校長兼教諭　（京城）師範教諭　久保次助

任中學校長兼教諭（五）補新義州中學校長兼教諭　（京城）中學教諭　末松秀雄

任中學校長兼教諭（五）補咸興中學校長兼教諭　（咸興）師範教諭　石橋一郎

任高女校長兼教諭（六）補金堤高女校長兼教諭　（新義州）中學校長兼教諭　筒井誠

補大田中學校長兼教諭　（咸興）同　石川賀

補順天中學校長兼教諭　（農務）本府理事官　山之內爾德

任專賣局事務官（七）　（同）本府技師　宿谷鐵英

任專賣局技師（六）　（殖產）本府技師　藤森濤

任稅務監督局技師（七）平壤稅務監督局在勤を命す　本府看守長　森行雄

任典獄補（七）咸興刑務所在勤を命す　同　桑野新六

任典獄補（七）光州刑務所在勤を命す

實業學校長兼教諭　一瀨毅文

陞敍高等官四等　本府事務官松永鴻、豫防拘禁所教導官兼本府事務官毛利將行、道督視孫田宗明、道技師寺崎勳、郡守東原弘展

陞敍高等官（五）（各通）（京畿道）技師　阿久根國吉

總督府辭令（卅一日）

依願免本官　編修官兼教學官中村榮孝、技師岸川俊輔、同平野徹、同臨毛京造、同西見正雄、判事藤本誠一、檢事金村良平、同梅島年太郎、同米倉榮二、檢事兼保護觀察所補導官依田克巳、保護觀察所補導官兼檢事良崎祐三、營林署技師栗山榮、陞敍高等官三等（各通）…

（以下辭令多數）

米機一機を擊墜
小獺、鳴神島に來襲

【ブエノスアイレス一日同盟】ワシントン來電＝米國海軍省は一日次の如く發表した、卅日午後ライトニング戰鬪機に護衞されたリベレーター爆擊機隊はキスカ（鳴神）島の日本軍陣地を爆擊したが、その際爆擊機一台が對空砲火のため擊墜された

【マドリード特電一日發】チュニジヤ戰の發展とともに中立國スペイン、ポルトガルに對する敵の外交活動は益々露骨化してゐる、さきにニューヨーク大司教スペルマンのスペイン、ポルトガル兩國訪問、近くはホーア、ヘース英、米兩スペイン駐劄大使がフランコ總統と長時間會見したこと、それと前後してリスボン駐在英、米各大使がサラザールポルトガル首相と會見したが、これらの會談に於ては次の點が論議せられたものと見られてゐる

（一）イベリヤ半島の海軍基地化要求（二）タンジール上陸（三）米國の對スペイン五億弗借款の供與

第一の問題は樞軸潛水艦による損失防止のためスペイン、ポルトガル兩國海岸に哨戒基地を必要とする所から抵觸される、第二の問題はイタリー情報は既に敵軍がスペイン北海岸に上陸せる旨を傳へフランス情報も米英軍のタンジール上陸必至を傳へてゐる、この外タンジール上陸の可能性は目下極めて多く、地中海入口の艦隊行動が眼下に見られるタンジールの存在は敵側としてはどうしても至急掌中に入れたいところである、そこでタンジールに對するスペインの保護領併合を正式には認めてゐない米英軍の一方的上陸進駐は比較的早く實現されるのではないかと見られてゐる、第三の借款問題では最初この交渉から除外されてゐたイギリスがスペインの一部物資をイギリスに直接送ることにより、スペインにはエジプトの綿、アルゼンチンの小麥、バクーの石油などを持ち込むことになつた模樣である

伊『新國民徵用令』公布

【ローマ一日同盟】イタリー政府は三月卅日食糧配給に關する諸般の具體的施策を發表、國內の食糧事情が漸次好轉してゐることを明

敵側、懸命の抱込策
在中立國外交官の動き露骨

英外相、カナダ首相と會見

【リスボン一日同盟】オツタワ來電＝オツタワ訪問中の英外相イーデンは一日カナダ首相キングと會見、對樞軸潛水艦戰につき意見を交換した

敵增援部隊を要請

【ローマ一日同盟】反樞軸軍統合參謀本部は過般ワシントンに於いて太平洋前線指揮官の會議を開催したが、右會議に關聯し、ワシントンからローマに達した情報によれば前線指揮官は太平洋の情勢悪化を指摘し急遽增援部隊を派遣するやう要請したと傳へられる

半島官民の言動　特に愼重なれ
臨時局長會議　田中總監より發言

一ケ月半ぶりに田中政務總監の歸任を迎へ、總督府の臨時局長會議は二日午前十時より本府第三會議室で開催、席上總監より東上中における議會の空氣、各省との折衝事項經過等を報告後

『貴衆兩院に於いて朝鮮に關する質問が五回位あつたが、その態度は揚げ足をとるやうな態度はなく、朝鮮の眞相を知りたいといふ眞摯なもので、自分としてはこれに對し率直に質問を話した、これに對し貴衆兩院とも朝鮮の眞相がよく分つたと感謝された、今後も一層朝鮮の眞相を內地に徹底することが必要であるが、その意味で朝鮮より東上する官民の言動は殊に愼重にする要がある、朝鮮に關する種類のデマや誤れる朝鮮觀も不用意の言動中に出てくる、少くとも官吏は特に足並を揃へて朝鮮の眞相を內地へ徹底せしむる必要がある』

と、今や皇民化へ邁進しつゝある半島の實情徹底の必要を強調したのち

總督が就任以來古典の研究、國體本義の透徹を強調して居らるる通り、最近の內地の世相も動いてゐる、例へば高等學校の教科內容にも古典の研究をとり入れたほか、大東亞審議會の結論に於ても、國體本義の透徹をとりあげてゐる、また文官試驗にも國史概說をとり上げてをり、文部省でもこれが印刷の十倍以上も申込みがあり、忙殺されてゐる實情にある、特に朝鮮では國體本義の透徹に向つて官民協力して一層邁進したい

と二時間以上にわたり詳細報告、これに對し各局課長より熱心な一問一答あり、午後零時半散會した

中日文化協會　第二回大會開く

【南京一日同盟】中日文化協會第二回全國代表大會は日本文化使節を迎へて一日午後三時開會式を舉行、同五時から本會議を開き議案四十四件を提案、それぞれ委員會に附託して日程を終り夕刻文協の招宴に臨んだ

結末のない戰鬪
熱田島沖海戰　米長官苦しい辯明

【ブエノスアイレス一日同盟】ウエリントン來電＝米艦軍長官スチムソンは一日ウエリントンにおいて新聞記者團と會見し、各方面における最近の戰況に關し次の通り述べた

一、チュニジヤ戰線のロメル軍はマレス線から後退せしめられたが、未だ防禦線に堅固な陣地を獲得してゐるので、今後とも反樞軸軍に強力な抵抗を行ふことつ將來の對樞軸攻勢計畫を協議するために行はれた

更にスチムソンは熱田島沖の海戰に言及敗戰の事實を極力隱蔽して『アリューシャン水域で過般行はれた日米兩國艦隊の海戰には艦艇から成る海上部隊が參加しただけで結末のない戰鬪に終つた』と苦しい答辯をした

赤軍戰車六千四百十臺擊破

【ベルリン一日同盟】獨軍筋の言明によれば、本年一月一日以降三月末日までにドイツ軍は地上部隊のみで六千四百十台の赤軍戰車を破壞した

敵の攻勢、悉く擊退
チュニジャ戰線活潑

クバン下流で激戰
赤軍狙擊兵大隊殲滅

伊軍戰況發表

【ローマ一日同盟】伊軍司令部發表

一、チュニジヤ戰線の戰況は北部及び中部地區に於いて特に猛烈を極めたが、伊軍は數次にわたる反擊で捕虜百七十三名のほか砲七十門、戰車多數を鹵獲した

一、南部地區の伊軍は戰線短縮のためガベ及びエル・ハンマを撤收した

一、樞軸空軍は空中戰に於いて敵機十一機を擊墜した

一、英本土を基地とする英米兩空軍の威力は增大した、よつて歐洲大陸に對する爆擊及び攻擊力に於いてもさらに增大しよう

一、最近ワシントンで開催された太平洋前線代表の軍事會議は前線指揮官にカサブランカ會談で決定された基本的方針を傳へか

佛印外交官會議開催

【サイゴン一日同盟】東亞の新情勢に即應してドクー總督はサイゴン、東京、バンコック及び支那の各地駐在自國外交官をハノイに招致、種々情勢を聽取の上何らかの適當な對東亞方策について協議を行ふこととなつた模樣で、駐日佛大使館參事官ファン男爵は廿七日空路サイゴン着卅一日夜サイゴン發列車でハノイに向つた、これに關し消息筋では泰、佛印間の現狀における兩國物資交流、貿易調整東亞共榮圈の現狀に即應するため基本的政策に關して檢討が加へられるものとして重視してゐる

情報局異動

【東京電話】情報局の改組強力化にともなふ情報局各部長の人事ならびに課長級の異動は一日附左の如く發令された、しかして奧村次長は第一部長ならびに第二部長の事務取扱を併せ命ぜられたが、これは暫定措置で第一部長については速かに適任者を銓衡して專任部長を設置するものと見られてゐる、第二部長については所管事務が新聞、放送、出版など情報局の中核をなす機能を網羅してゐるために當分の間奧村次長の兼任で行くものと見られてゐる、なほ第四部長などにおいても速かに職能課長を設ける方針である

命情報局第一部長、同第二部長事務取扱　情報局次長　奧村喜和男

免情報局第一部長事務取扱　情報局情報官　佐藤勝也

依願免本官　情報局情報官　松村秀逸

命情報局總裁官房秘書課長兼同文書課長　情報局情報官　福田鶴泰

同　林馨

命情報局第一部企劃課長　同　高橋貢

命情報局第一部情報課長　同　飛鳥元三郎

命情報局第一部國民運動課長　同　下野信恭

命情報局第一部週報課長　同　宮本吉夫

命情報局第二部新聞課長　同　竹本孫一

命情報局第二部出版課長　同　水谷史郎

命情報局第三部對外報道課長兼同　殿野雄三

命情報局第三部對外事業課長　同　金井元彥

命情報局第四部檢閱課長兼同　田村啓一

同　井上司郎

酒、新調服に手痛く
大して響かぬ砂糖、お菓子

增稅勘定早判り

砂糖製品、お酒などに一日から新しい稅と增稅が賦課された、一體酒や砂糖や衣食料品が新、增稅されたらどんな値段で府民の手に入るのか、一日午後、各業者に訊いてみた

……◇……

先づ酒の値段、これは從來の造石稅、一石について卅六圓が一度に飛躍して六十圓になる、それに加へて今までの物品稅の代りに庫出稅といふのが新しく四十圓賦課された、故にこれを二級酒一升の販賣價格に置きかへてみると、從來は稅金が八十錢であつたものが一圓八十錢の稅を拂つて飲むことになつたのである

ビールについても庫出稅その他を合せて一斗について從來の六十九圓八十錢から一躍に百五十九圓八十錢に跳り上つた、假に一本四十錢とすればそれが九十二錢にな

つた勘定になるわけだ、これでは一寸一ぱいといふわけには行かない

砂糖の方は家庭用と業務用で稅率が違つてゐるが、業務用としての特別消費稅は百斤について十圓一般消費稅は同じく百斤について十四圓五十錢、從來の十二圓に較べ僅か二圓五十錢の値上りであるから影響は殆どなく

菓子製品も製造業者の節約から價格の上にも變化は見ぬであらう

そのほか、織物の物品稅は三割に新しく織物稅といふのが一割加算された、殊にこれは從來の稅を含めた販賣價格に課稅されたのであるから、假に前日まで稅共百卅圓であつた反物は百四十三圓になつたわけだ、また特別行爲稅の中、洋服の仕立は男子三ツ揃ひで料金の三割、女子用同樣といつたぐあひに衣料品には相當手痛く消費抑制の跡を示してゐる

捲起された愛馬運動
寫眞＝京城驛前の宣傳塔

植栽を激勵
本府のお歷々地方へ

植樹記念日

四月三日の記念植樹日を中心に前後一週間に亘り全鮮一齊に記念日行事が繰展げられるが總督府では次の日程で農林局幹部を動員し、現地の植栽ぶりを視察、督勵することになつた

▲本田技師（京畿）八日－十日
▲本田技師（忠北）四日－七日
▲森田技師（忠南）四日－六日
▲森田技師（全北）七日－十日
▲横山林政課長（全南）四日－十日
▲中塚技師（慶北）四日－九日
▲平野技師（慶南）四日－十日
▲両見技師（黃海）四日－九日
▲牟田理事官（平南）四日－九日
▲石田林業課長（平北）十日以後
▲内田技師（江原）四日－九日
▲大谷技師（咸南）十日以後
▲両見技師（咸北）同

一等が十五本
幸運の貯蓄と豆債券

恒例の第三回戰時貯蓄ならびに第九回豆債券一等當籤番號が一日朝鮮銀行から發表された、幸運の當籤番號は戰時貯蓄は一三、四三三と五五、〇七〇の二本（十五圓券、七圓五十錢券共通）で豆債券は四二一五七である、朝鮮關係の分については殖銀で調査の結果戰時貯蓄債券（割增金二千圓）十五圓券一等が長箭、木浦の殖銀支店および京城勸業證券から賣出した中に一本宛合計三本、七圓五十錢券（割增金一千圓）一等は仁川、開城殖銀支店賣出分中に一本宛合計二本豆債券（割增金五百圓）は仁川、鳥致院、沙里院、平壤から各一本宛合計四本、京城で抱合用として使用したものの中に六本含まれてゐることが判明した、なほ抱合用として使用したものは京城料理屋組合京畿道洋服、新町貸座敷、京城食肉の各組合から一本宛、百貨店組合から二本となつてゐる、當籤内譯左の通り

第三回戰時貯蓄一等一三、四三三、十五圓券（割增金二千圓）長箭殖銀、七圓五十錢券（割增金一千圓）仁川殖銀、開城殖銀五五、〇七〇、十五圓券（割增金二千圓）京城勸業證券、木浦殖銀七圓五十錢券なし

第九回豆債券一等　四二、一五七（割增金五百圓）仁川、鳥致院沙里院、平壤各一本、京城から六本（抱合用）

〝戰ふ學園〟確立へ
抱負を語る高橋京師校長

總督府教學官高橋濱吉氏が勅任官に昇進、專門學校昇格の京城師範初代校長に拔擢され一日發令をみた、翳の階子を射とめた高橋新校長は、廣島高師を出て大正四年京城中學教諭をふり出しに、總督府屬官、高工教授、本府視學官、景福中校長を經て昭和十年京城女子師範が創設されるとゝもに初代校長に就任、その後二年間本府教學官を勤めた

その間歐米教育視察に外遊、また朝鮮教育令改正の四回の中こんどを合せて二回も參劃した半島教育行政の元老である

發令の喜びに輝く一日本府教學官室にその抱負と希望をきいてみる

教育令改正に依る師範學校の專門學校昇格は畢竟するところ國民學校兒童をして皇國の道によつて國民錬成せんとするもので

ある、この兒童たちを薫陶の重責を擔つて起つ教師を錬成する京城師範は、第一線將兵以上の決死的態勢に起たねばならない私はこの二年間、半島學制教新の急速な動きの中にあつて視學官を勤め、そこに少からざる體驗を得て昇格後の京師初代校長に就くのだが何ら京師はその生徒教官豫算は日本一の世帶であり自分は非常な重責を感じてゐる、先づ就任その日から學務局長、課長の方針によつて、すでに骨子の出來てゐる教職員の整備にどしく手をつけて學園の機構確立に邁進したい

中島新教學官
溫厚な人柄

高橋教學官の京城師範校長轉出に伴つてその後任は朝鮮獎學會指導部長中島信一氏（本府視學官）が就任、高商延禧專門校長事務取扱の後任も中島新教學官が兼ねることゝなつた

中島教學官は六高（岡山）教授を十七年間奉職、昭和十二年來鮮以來本府視學官の傍ら、この二ケ年は總督府東京派遣官として在內地半島學生の指導に挺身した溫厚篤實な人である

壯烈な錬武の繪卷
銃劍道錬成平壤大會開く

【平壤にて白川特派員發】輝く徵兵の日を明年に控へ決戰下半島青年の逞しい鬪魂を一突必殺の意氣に示す平南北、黃海三道五十三郡下より馳せ參じた精銳三百五十名の本社並に大日本銃劍道振興會京城、慶南聯合支部共催による全鮮銃劍道錬成平壤大會は二日午前八時から平壤第一中學校々庭に於いて觀衆約七千見學の中に實戰即應の錬成の幕を切つて落した

定刻八時各選士は鬪志を眉宇に輝かせて整列、晴れの開會を待つ、やがて八時半細木大尉開會を宣し、宮城遙拜、默禱、國歌奉唱、かくて荒木本社平南支局長の開會の辭、平壤地方大會長岩部大佐謹みて宣戰の詔書を奉讀、次で全鮮大會長山本中將の告辭（岡村少將代讀）同平壤大會長岩部大佐の訓辭があつて高宮本社長『大東亞戰の必勝の信念と優秀なる戰技の確立こそは勝利の鍵である、ことに白兵戰に於けるわが皇軍獨得の戰技銃劍術は今こそ銃後の青少年が錬成修鍊に進むべき國民武道である』と激勵し、來賓の祝辭の後河野中佐の試合注意を以て閉式

かくて九時卅分全員からなる集團訓練に入つた、中等學校生徒、青訓生、在鄉軍人を網羅する全員の集團訓練は細木大尉の指揮の下に一糸亂れぬ基本動作の訓練を誇示し、かくて突擊訓練に熱火の如き鬪志を示して白兵戰を展開したが午後から互格試合に入り各選士必勝の熱技をもつて勝利を爭ひ、決戰下錬武精神を誇示、午後四時す

ぎ壯烈勇武なる大會を閉ぢた【寫眞＝平壤大會長岩部大佐の訓示】

佛義勇軍チュニジヤ戰線に出動

【ベルリン一日同盟】チュニジヤ戰線では今回ペタン元帥に忠誠を誓ふ樞軸フランス義勇軍が編成され、一日第一線に出動した

豫期しない遭難
沈沒船すみれ丸に乘合せた
茂村長助さんら語る

【馬山電話】發動機船すみれ丸の遭難事件は引續き海軍當局の血みどろの活躍と馬山署員の協力により船の引揚げにも成功、生存者七十一名のほか犧牲者の死體百五十四も捜査により發見遺族に引渡したが、殘る八十餘名は未だ發見しないので、引續き必死の捜査を續けてゐる、卅一日署員を現場に派遣して、事務打合せのためひと足先に現場を引揚げて歸署した山口署長と、同船沈沒のため漂流中救助船により命拾ひをしたすみれ丸機關長の實兄茂村長助の感想を聞く

山口署長　事件發生の……

培ふ指導力
各校配屬將校に教練講習

戰ふ學徒に實戰即應の軍事教練を徹底させ戰時下學徒の資質向上をはかるためにはまづ學校教練指導者の錬成が肝要だと總督府では講師に陸軍戶山學校教官大塚少佐、石丸中尉の指導官を迎へ受講者として全鮮大學、專門、中等學校各配屬將校教練教師百七十二名が參加の下に學校教練指導講習會を二日午前九時龍山練兵場で開催

まづ全員は三班に分れてそれぞれ各教官指導の下に體操は龍山中學校庭で、銃劍術、射擊は龍山練兵場で各々實施『倒さずば止まず』の鬪魂をたぎらせて一突必殺の銃劍道精神の奧技を極めんと直突、刺突などを受講、また體操科目では基本體操から叩き込んで應用體操を行ひ、早駈け巾飛び、押揚げ運動をはじめ射擊などを熱心に學び、かくて旺盛なる指導能力をしつかと把握して第一日目は午後五時終了したが、引續き四日まで同樣に行はれる【寫眞＝教練講習會】

航空醫學の尊い人柱
岡山醫大　藤田、西崎兩氏實驗に殪る

【東京電話】岡山醫大藤田茂大尉同西崎良虎中尉は陸軍から航空技術協會を通じて高度飛行醫學に關する研究をつゞけ高度飛行において長時間人體の機能を支障なく保たしめる方法を委囑され同醫大生理學教室において研究してゐたが二月二十日朝兩氏は高さ二メートル、胴直徑一メートル八〇の鐵筒内に入り實驗中同十一時五十分頃突如鐵筒内で火を發し、實驗監視中の生沼教授、林助教授、西田助手の三名が直ちに扉を開き兩氏を救ひ出し百方手當を加へたが、遂に同日午後六時卅分頃相前後して息を引とつた、事件の原因については漏電による引火と見られてゐる、なほ同大學で一月廿五日同大學初の校葬を執行した

藤田茂大尉略歷

藤田大尉は明治四十四年十月十五日生、兵庫縣出身、昭和十一年三月岡山醫大卒業、副手囑託、同十二年四月陸軍々醫中尉任官、同十五年八月岡山醫大副手、同十七年三月陸軍大尉、同十八年一月岡山醫大講師を囑託

西崎良虎中尉略歷

西崎中尉は明治四十年七月二十七日生、岡山縣出身、昭和十年三月九州醫學專門學校卒業、同十二年三月岡山醫大生理學專攻生として入學、同十四年六月陸軍々醫少尉に任官、同十六年三月中尉に昇進、同十七年岡山醫大副手を囑託、同十八年一月講師を囑託された

東條首相から遺族へ表彰狀と弔慰金

兩氏の遺族に對し一日東條首相から遺族に對し表彰狀と弔慰金一封を、また同日土肥原航空總監から岡山醫大に對し殉職兩氏の胸像が贈られた

競馬入場料前賣券賣出す

朝鮮馬事會では三日から火蓋を切る京城春競馬の入場前賣割引券を二日から府內三越、丁子屋、三中井、和信の四百貨店で賣り出した

三年目には實ります
營團居住者に栗の木など配布

家庭園藝と增産の一石二鳥をねらふ『樹木を植ゑませう』の運動は植樹記念日と共に各方面でも盛んな實踐方法が講ぜられてゐるが朝鮮住宅營團では上道、番大方、道林、漢南各町居住者一千戶に對し栗を主にクルミなど二萬三千本を無料配布し『大切に育てると三年目に實がなります』と三年……

は三等室のドアを開いて出來るだけ船客が甲板に上るやうにし……

第二回大東亞文學者大會
今秋東京で開催

【東京電話】大東亞共榮圏諸地域から代表的文學者を招請して、わが代表者と一堂に會して文化的協力の絆を固めるとともに、わが國の世界に誇るべき文化面を認識させようと大日本文學報國會の主催で昨年秋第一回大東亞文學者大會が開かれ多大の成果を收めたが、本年度はさらにその規模を擴大、今秋十月三日から十八日までの十五日間第二回大會を東京で開催することとなつた、文報側としては本年度は滿洲、中國、佛印、泰國のほかさらにフイリツピン、インドネシヤ、マライ、ビルマなど軍政各諸地域からも一名宛の參加を要望し目下軍當局と交渉を進めてゐるが尙第二回大會の中心議題としては

一、大東亞戰爭完遂、共榮圏建設のためその理念の强化および實踐協力方法
二、大東亞文學の確立およびその本質の檢討
三、共榮圏內における文學者の活動報告

燃料の特配
府で近く實施

京城府では四月初旬から調理用燃料配給を實施、病人、冠婚葬祭、出産ほか特に家庭燃料として必要と認められたものに對して燃料の特配を行ふことになつた、申請方法は府尹宛に申請書を提出、切符の發給をうけて指定の配給所へ行くことになつてゐる

けふの市況（二日）
株式　小戻す　物色買再燃

前場　休日控へながら軍需株はこれ以下の安値は考へられないので物色買ひ再燃模樣となり工業、航空機工業、船舶造船、學工業株は軒並前日より一圓戻し、その他事業株も五十錢から一圓方低落したが、人氣は堅い商狀を呈した、尤も日本は一圓方低落したが、好化模樣で目先突飛的な高値いとしても買氣が挫けるとはれない、なほ短期は高周波國八十錢と變らず、龍工新岩村五十五圓五十錢とそれぞれ保合、東洋輕金屬五十四圓……と五十錢方引締め、小林七十三十錢と十錢方小戻り、新二圓六十錢と二十錢方呆りしたが、あと三四丁と引返し菱重工新五十一圓九十錢と乏しく躍體的にみて上下いでも分岐點の形であつた

後場（部分高）前場小高あとをうけて先行好望視され業株には買氣が誘發され東……勝を筆頭に概ね上伸歩調を……

朝取一般取引員
公社債株式賣買
昭和證券株式會社
京城府明治町

（朝取短期・大株短期・現株仲值（二日）等の相場表は判読困難につき省略）

三國志（112）
吉川英治作　矢野橋村繪
出師の表（六）